

くらしの
Be careful!
シグナル

夜間の高齢者の交通事故を防ごう

市民安心課 交通防犯係 ☎ 36-7144

「秋の全国交通安全運動」の重点

市（市交通安全対策協議会）では、9月21日（日）～30日（火）の「秋の全国交通安全運動」期間において、運動の重点を「夜間の高齢者の交通事故防止」と定めました。

運動の重点【全国】

- 。夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- 。全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 。飲酒運転の根絶
- 。夜間の高齢者の交通事故防止

夜間の交通事故防止のために

「自発光式反射材の着用と午後4時のライトオン」

平成25年中に市内で発生した交通事故788件のうち、午後4時～6時の夕暮れから夜間の時間帯に発生した交通事故は120件で、時間帯別では最多でした。視認性の低くなる夕暮れから夜間は、交通事故発生の危険性が高く、特に注意する必要があります。

市は「県下全域で取り組む」ピカッと作戦！」と今回の運動を通じて、自転車や歩行者の自発光式反射材の着用を推進していきます。

さらに、今年度からドライバーに対し、3月～5月は午後5時、6月～8月は午後6時、そして今年9月

から翌年2月までは、午後4時のライトオン（ヘッドライトの点灯）を呼びかけていきます。

高齢者の交通事故防止のために



高齢者対象交通安全教室
(7月15日 初倉地域総合センター)

「運動機能の低下に注意」

前述の交通事故788件のうち、高齢者の関わった交通事故は279件、死者数は6人、負傷者数は193人で、高齢者が交通事故の犠牲や原因となる割合が増加しています。

加齢に伴う身体機能の変化として、歩行速度の低下と注意力の偏りにより、道路横断の後半で左方向からの車両との事故に遭う割合が高くなっています。横断歩道のあるところで、車の流れが完全になくなってから横断するようにしましょう。

また、市内の高齢者2万7746人のうち、運転免許証保持者は1万5548人で、約56%（平成25年12月末現在）です。平成25年中に、市内で発生した高齢運転者による交通事故は160件で、増加傾向にあります。自分の運転に自信がなくなつた人は、運転免許証の自主返納を検討しましょう。

交通安全を願う「大だるま」

▼栄・代官自治会の皆さんが、無事故・無違反を願い、4カ月かけて、高さ2.1m幅1.8m重さ60kgの大だるまを作成しました。

大井神社（大井町）で交通安全祈願の祈禱をした上で寄せ書きをし、八雲神社（金谷宮崎町）の夏祭りや島田警察署で展示されました。

☎ 45・3983（横山）



大だるまに寄せ書きをする地区の皆さん

「女性相談」を実施します

▼広く女性の生き方に関わる悩みに専門の女性相談員が対応します。

とき／毎月第1・3金曜日午後1時～4時30分（初回は、10月17日）

ところ／プラザおおるり市民安心課相談室（1階）

申し込み／前日までに、電話で市民安心課 人権・男女共同参画係へ

☎ 36・7121

生活用品活用バンク

とき／毎週火曜日・木曜日 午前9時～午後4時（祝日・プラザおおるり休館日を除く）
ところ／市民相談係（プラザおおるり1階）

登録方法／電話または直接、市民相談係まで（品物の色、形式などもお伝えください）

①譲ります

▽座卓、ライティングデスク、照明器具、温熱座いす、布団乾燥機、制服、ラジオ、布おむつ、電子オルガン、電動ウォーカー、ポータブルトイレ、猫用トイレ、じゅうたん、振袖、一輪車、子ども用自転車、補助いす

②譲ってください

▽本棚、ソファ、介護用ベッド、パソコン、電子レンジ、CDラジカセ、BSチューナー、制服、柔道着、琴、大正琴、三味線、チャイルドシート、ミシン、陶芸の道具、機織り機、石臼、平ぐわ、自転車、車いす
※8月26日現在の状況です。詳しくは、市ホームページの一覧表をご覧ください。

注意点

- 譲りたい物は、自宅で保管
- 譲ってほしい人が運搬

☎ 市民安心課 市民相談係

☎ 36・7153